

みずほCustomer Desk Report 2022/06/15号(As of 2022/06/14)

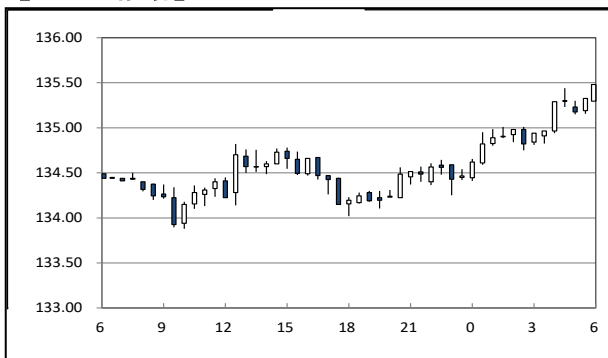
市場営業部 為替営業第二チーム

【昨日の市況概要】				公示仲値	134.13
	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY	GBP/USD	AUD/USD
TKY 9:00AM	134.23	1.0414	139.79	1.2136	0.6942
SYD-NY High	135.48	1.0484	141.08	1.2210	0.6970
SYD-NY Low	133.88	1.0397	139.50	1.1934	0.6850
NY 5:00 PM	135.48	1.0417	141.08	1.1997	0.6870
	終値	(前日比)		終値	(前日比)
NY DOW	30,364.83	▲ 151.91	日本2年債	▲0.0500%	0.0000%
NASDAQ	10,828.35	19.12	日本10年債	0.2500%	0.0000%
S&P	3,735.48	▲ 14.15	米国2年債	3.4383%	0.0737%
日経平均	26,629.86	▲ 357.58	米国5年債	3.5995%	0.1184%
TOPIX	1,878.45	▲ 22.61	米国10年債	3.4772%	0.1164%
シカゴ日経先物	26,495.00	45.00	独10年債	1.7440%	0.1220%
ロンドンFT	7,187.46	▲ 18.35	英10年債	2.5920%	0.0750%
DAX	13,304.39	▲ 122.64	豪10年債	3.9800%	0.3100%
ハンセン指数	21,067.99	0.41	USDJPY 1M Vol	14.38%	0.26%
上海総合	3,288.91	33.36	USDJPY 3M Vol	13.02%	0.22%
NY金	1,813.50	▲ 18.30	USDJPY 6M Vol	12.21%	0.16%
WTI	118.93	▲ 2.00	USDJPY 1M 25RR	▲0.80%	Yen Call Over
CRB指数	315.67	▲ 5.77	EURJPY 3M Vol	13.58%	0.47%
ドルインデックス	105.52	0.44	EURJPY 6M Vol	12.82%	0.37%

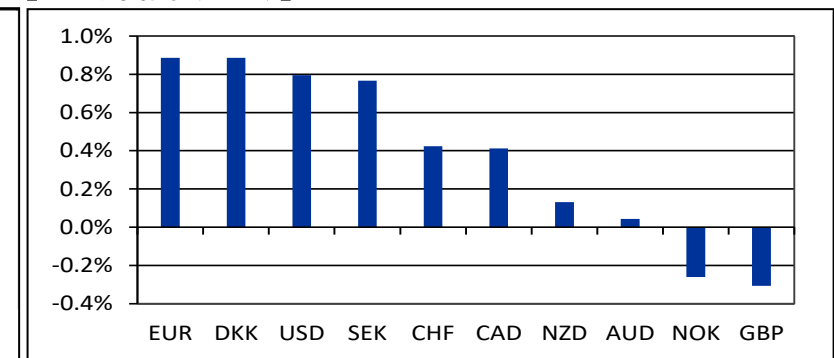
東京	東京時間ドル円は134.23レベルでオープン。米株安を受けたリスクオフムードから円買いが強まり、仲値近辺に133.88まで下落。ただ、国債買い入れオペ増額、買い入れ対象追加発表により日銀の金融緩和継続姿勢が再認識されると円売りに転じ、ドル円は一時134.82まで上昇。一服後は小幅に下落するも、底堅く推移し134.50レベルで海外時間へ渡った。
ロンドン	ロンドン市場のドル円は、134.50レベルでオープン。リスクオフの円買いとドル買いが交錯しドル円は方向感なく推移し134.51レベルでNYに渡った。ユーロドルは、1.0439レベルでオープン。序盤は昨日までの巻き戻しで1.0484まで堅調に推移。しかし独6月ZEW期待指数が予想を下回ると株が下落し、ユーロも1.0426に下落。結局1.0442レベルでNYに渡った。
ニューヨーク	海外市場のドル円は134円台半ばでスタート。東京市場では米金利の上昇一服を受けてドル円は売り優勢となり、一時134円を割り込む。しかし、133円台後半では押し目買い意欲が見られる中、すぐに134円台を回復。その後、日銀が15日に予定されている国債買い入れオペを巡り、予定額の増額と対象テナーの拡大を発表したことから円売りが加速し、一時134.82をタッチ。欧州時間は134円台半ばでもみ合い、134.51レベルでNYオープン。朝方は米5月PPIが発表され、食品とエネルギーを除くコアPPIが予想をやや下回るも、市場の反応は限定的だった。その後、米株先物がマイナス圏に沈む動きを眺めながらリスクオフの円買いが散見され、安値134.25をつけるも、その後は米長期金利が3.4%台を回復する中、次第にドル買い優勢となり、135円手前まで上昇。午後は135円手前でもみ合いが続くが、135円を突破するとストップロス巻き込みながら135.44まで急伸。買い一巡後、135.15まで反落するが、終盤にかけて再び上昇し、高値の135.48レベルでクロス。一方、海外市場のユーロドルは1.04台前半でスタート。ユーロのショートカバーが進み一時1.0484まで上昇するも、その後発表された独6月ZEW景気期待指数が予想を下回ると売りに転じ、1.04台前半まで反落。小幅反発後、1.0442レベルでNYオープン。朝方は1.0468上昇するが、その後は米金利上昇が重しとなり、1.0400まで下落。明日にFOMCを控えている中、午後は1.0400割れを積極的に試す気配はなく、方向感の無い推移が続く、結局、1.0417レベルでクロス。

【昨日の指標等】						
Date	Time		Event		結果	予想
6月14日	13:30	日	鉱工業生産(前月比/前年比)・確報	4月	-1.5%/-4.9%	-
	15:00	独	CPI(前月比/前年比)・確報	5月	0.9%/7.9%	0.9%/7.9%
	15:00	英	週平均賃金(除賞与/3ヵ月/前年比)	4月	4.2%	4.0%
	18:00	独	ZEW調査(現状/期待)	6月	-27.6/-28.0	-31.0/-26.8
	21:30	米	PPI(前月比/前年比)	5月	0.8%/10.8%	0.8%/10.9%
【本日の予定】						
Date	Time		Event		予想	前回
6月15日	11:00	中	鉱工業生産/小売売上高(前年比)	5月	-0.9%/-7.1%	-2.9%/-11.1%
	18:00	欧	鉱工業生産(季調済/前月比)	4月	0.5%	-1.8%
	21:30	米	NY連銀製造業景気指数	6月	2.3	-11.6
	21:30	米	小売売上高速報(前月比)	5月	0.1%	0.9%
6月16日	22:15	欧	ノット・オランダ中銀総裁 講演	-	-	-
	03:00	米	FOMC政策金利	-	1.25%-1.50%	0.75%-1.00%
	03:30	米	パウエルFRB議長 記者会見	-	-	-

【ドル円相場】



【対円騰落率(日次)】



【予想レンジ】

通貨ペア	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY
想定レンジ	134.00-136.00	1.0300-1.0550	140.20-142.20

【マーケットインプレッション】

東京時間ドル円は、134.23レベルでオープン。前日からのリスクオフの流れに日経平均も下げて始まり、133.88まで円が買われた。昼過ぎには日銀の中長期債の買い入れオペ増額と超長期債の買い入れ対象追加発表を受けて日米の金融政策の違いが再認識され、134.82まで急騰。海外時間に発表された米5月PPIは凡そ予想通りの結果であり、市場の反応は限定的だったが、その後は米長期金利上昇の流れにドル円も買われ、昨日の高値を更に更新し135.48レベルでクロスした。本日のドル円は135円を挟んで揉み合う展開を予想する。FOMCを前に75bpの利上げが急速に織り込まれて、米長期金利は3.5%近辺まで上昇しておりドル円は上昇しやすいものの、一段のサプライズとはなりにくいと思われる。株式市場も軟調に推移するなどリスクオフムードが高まっており、高く積みあがった円ショートポジションの巻き戻しも考えられることからドル買い一辺倒とはならないものと予想。仮にFOMCで50bp利上げが発表された場合には下押し圧力となるため、警戒しておきたい。

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。なお、当行は本情報を無償のみ提供しております。当行からの無償の情報提供を望まれない場合、配信停止を希望する旨をお申し出ください。

担当: 西・大谷